

議会 だより

令和6年
第3回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

令和6年田原本町議会「第3回定例会」を9月2日から19日の日程で開催しました。
開会日には高江町長から提出議案の説明を受け、会期中、各議案について慎重に審議を行いました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

損害賠償額の決定について(1件)
○令和5年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の健全化判断比率の財政4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、また実質公債費比率12・0%(前年度対比0・4ポイント上昇)、将来負担比率27・7%(同10・2ポイント低下)であり、いずれも早期健全化基準を下回っていることを報告するもの。

○令和5年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく当該年度の下水道

事業会計に関わる資金不足は生じておらず、経営健全化基準を下回っていることを報告するもの。

○放棄した債権の報告

令和5年度に放棄した債権は、学童保育所使用料、廃棄物処理手数料、督促手数料で債権額合計52万2932円を報告するもの。

《可決・認定した議案》

○令和6年度田原本町一般会計補正予算(第4号)(全員賛成)

補正予算額は5億9911万5000円の増額で、内容は次のとおり。
・行財政改革を推進するための特別顧問に係る経費、令和5年度決算が確定したことに伴い、繰越金の一部を財政調整基金及び公共施設等整備基金に積み立てるもの。
・田原本小学校石綿調査にかかる経費、企業版ふるさと納税を活用し、中央体育館に審判台等を導入するための経費。

・減債基金を活用し、町債の一部を繰上償還するもの。
歳入補正は、地方交付税、繰入金、繰越金等。

地方債補正は、小学校改修事業、臨時財政対策債を増額するもの。

○田原本町議会議員及び田原本町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例(全員賛成)

田原本町議会議員及び田原本町長の選挙における候補者の政見等を選挙人に周知する選挙公報の発行に関する条例を制定するもの。

○田原本町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例(賛成多数)

本町の財政状況に鑑み、町長、副町長、教育長の給与を一定期間減額する改正を行うもの。

○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例(全員賛成)

国民健康保険法の改正により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い所要の改正を行うもの。

○田原本町土地開発公社の解散について(全員賛成)

土地開発公社の主要事業である土地の先行取得についての有効性及効果薄れたこと等により土地開発公

社を存続する必要性が低くなったこと、また、土地開発公社運営に係る本町の事務負担軽減のため、田原本町土地開発公社の解散について議会の議決を求めるもの。

○奈良県広域水道企業団の設立に関する協議について(全員賛成)

奈良県広域水道企業団の設立に関し、関係地方公共団体と奈良県広域水道企業団規約を協議することについて、議会の議決を求めるもの。

○奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について(全員賛成)

高齢者の医療の確保に関する法律の改正により、現行の被保険者証が令和6年12月2日に廃止されることに伴い所要の変更を行うことについて、議会の議決を求めるもの。

○令和5年度田原本町各会計決算の認定について(賛成多数)

地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、監査委員の意見を付けて議会の認定に付すもの。

委員7名で構成される決算審査特別委員会を設置し、各会計決算について審査を行いました。(決算の詳細は広報たわらもと10月号に掲載されています)



《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて（全員賛成）

氏名 田部井紀美子氏

任期 令和7年1月1日から
令和9年12月31日

《採択とした意見書》

○慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書（全員賛成）

提出議員 古立憲昭議員

《総務文教委員会審査の状況》

質問 令和6年度田原本町一般会計補正予算（第4号）について、審判台を導入する理由、町の負担は。

回答 バレーボールのVリーグ公式戦用の審判台が必要である。企業版ふるさと納税を活用するため、町の負担はない。

質問 田原本町議会議員及び田原本町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例について、配布方法は。

回答 選挙人名簿に登録された全ての世帯に対し、ポスティングまたは郵送による配布を考えている。

《厚生建設委員会審査の状況》

質問 田原本町土地開発公社の解散

について、解散する理由は。

回答 土地の先行取得についての有効性や効果が薄れたこと、行政改革の一つとして内部事務の効率化・適正化のため解散する。

質問 奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、マイナ保険証の登録をしていない場合、資格確認書は送られてくるのか。

回答 令和6年12月2日からマイナ保険証になるため、登録されていない方には資格確認書を郵送する。

一般質問の録画配信を開始

令和6年6月定例会から一般質問のインターネット録画配信（YouTube）を開始しました。QRコードからご覧ください。



町議会ホームページをご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることができます。



<令和6年第3回定例会> 議決結果賛否一覧表

賛成は「○」、反対は「×」、欠席は「欠」とします。 ※議長（植田昌孝）は表決に加わりません。

議案名	議員名	議決結果	岡本充弘	杉岡雅司	持田尚顕	梅谷裕規	平田昌隆	藤井誠人	梶木裕文	村上清司	安田喜代一	古立憲昭	西川六男	竹邑利文
議第31号	令和6年度田原本町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	田原本町議会議員及び田原本町長の選挙における選挙公報の発行に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	田原本町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第34号	田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第35号	田原本町土地開発公社の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	奈良県広域水道企業団の設立に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	令和5年度田原本町各会計決算の認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
発議第4号	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

今期定例会では、奈良県広域水道企業団の設立に関する協議、行財政改革を推進するための特別顧問に係る経費を含む補正予算を含む9件の議案、意見書1件を審議し、8名の議員が一般質問を行いました。

開かれた議会を旨指し、9月定例会から議決結果賛否一覧の公表を始めました。6月定例会からはYouTubeによる一般質問の録画配信も始めております。そして、町議会初の試みとして、一般参加者による女性議会（模擬議会）の開催に向け準備を進めております。議会だよりが発行になる頃には、女性議会の様子を公開できる予定で進めてまいりますので、ぜひご覧ください。

持田 尚頭 議員

公共交通空白地域を解消するため、昨年の11月から町の北東エリアの地域を対象に、26カ所の乗降場所を設

け、軽の電気自動車一台による乗合方式でのデマンド型の運行が実施され、さらに、本年の10月から、町の南東及び南西エリアに拡大し、新たに19カ所の乗降場所が追加になりました。これまでの利用状況は、利用者数は少数でまた、他の利用者と同等乗する相乗り率も低く、まだまだ利用できる余裕があるところです。

積極的な周知や利用者の意向を把握するなど利用しやすい制度となるよう取り組みを行い、利用促進を図ることを求めました。

梅谷 裕規 議員

3点を一般質問しました。
①健康ポイント事業に令和2年度から5年間、総額約2億5千万円を費やしています。歩くことが健康に良いことは理解しますが、あまりにも巨額な事業費です。来年度から国の補助がなくなるため、出来る限りお金を掛けないウォーキング事業の検討を質しました。②町で開設の「FMまほろば」は、防災を含めた情報発信手段として開局したとのことですので、平常時から聴取していただく取り組みの必要性を質しました。③特別支援教育の中でこども支援員と担任教諭との定期的な情報交換について具体的に進めるよう質しました。

平田 昌隆 議員

定例会（第3回）において、一般質問では、①気象防災アドバイザーの採用について②認知症の人が安心して暮らせる地域づくりについて等2点を行いました。①については、近隣市町村の活用事例など、調査・研究していくとの事。②については、認知症の人にやさしいまちづくりを目指し、関係機関等とのネットワーク構築をめざしていくとの、いずれも前向きな答弁を得ることができました。また、決算審査特別委員会でR5年度の決算について審議し、疑問点などについて質問。すべての会計決算について認定されました。

藤井 誠人 議員

提案型一般質問2点①使える粗大ごみの再利用で、循環型社会を先導するリユース会社と官民連携すべきと提案。連携は早速開始された。

また、学校統廃合時に、子ども達が長年使い続けてきた思い出のあるものが、単に処分されるのではなく、全国に必要とされている方に繋げて行く事等を教育として取組んでは？と提案。「頂いた他の施策ともかけ算して、積極的にやりたい」と町長。粗大ごみ受付に電子申請&決済もすべきと提案、検討すると答弁。

②学校や公共施設のカギの運用が一律でなく防犯面や防災等の緊急時に懸念があるので、スマートロックの導入を提案。「メリットは多々あると承知、検討を進める」と町長。

梶木 裕文 議員

一般質問①防災教育及び感震ブレーカーの普及について。②県道大和高田桜井線歩道整備について③子育て世代的取り組みについて質問。防災教育では子どもの頃から防災が特別なものではなく日常にあることとして意識づけしていくことが重要。防災知識の普及の取り組みとして中学生にむけた「防災小説」の取り組みや、防災とスポーツを組み合わせた新しい防災教育プログラム「防災スポーツ」の導入について質問。子育て世代的負担軽減策としては、長期休業中の学童保育における昼食について、宅配弁当の拡充や給食の提供について質問しました。

村上 清司 議員

石川県では1月の地震で甚大な被害を受け、被災地の復興作業も行き届かない状況の中、9月21日に発生した豪雨により、河川氾濫による浸水や土砂崩れの被害が拡大されました。さて、本町においては、7月に奈良県における貯留機能保全区域に

西代が指定されました。土地が元来有している遊水機能（貯留機能）を可能な限り保全していくことを目的としており、浸水被害の拡大を抑制する効用があると認められる区域を貯留機能保全区域とする制度、遊水機能の費用のかからない田んぼダムが地味ではあるが必要であると思われまます。

安田 やすだ 喜代一 きよかず 議員

町小中学校施設再配置検討特別委員会では、3校統合校の開校時期のアンケート結果の報告がありました。アンケート調査の結果、「令和10年度開校」に比べて「令和11年度開校」

が良いという意見が多くあり、選定理由としては、令和10年度において屋外運動場が工事中であることから環境面や安全面に関する意見が多くありました。アンケート結果と選定理由を踏まえ、町として令和11年度開校に決定されました。ただ、令和10年度開校を希望されている方もおられることから、より丁寧な説明と3校の児童の交流を積極的に進めていくことが必要であると考えます。

古立 ふるとく 憲昭 のりあき 議員

5歳児健診について、落ち着きがない、周囲とうまく関われないなどの発達の特性を持つ子どもたちは、

小学校への就学後は、環境に適応できず、不登校になったり、問題行動を起こしてしまったりすることが少なくない。5歳児健診によって、そうした行動に気付き、適切な支援や療育につなげることができれば、多くの子どもたちが通常学級でも問題なく学べるようになる。5歳児健診を導入した自治体では不登校が減ったという研究もあるので、5歳児健診の導入の是非を問う。また、日常的に家族の世話や介護を担うヤングケアラーの対応を問う。

西川 にしかわ 六男 むつお 議員

森・前町長が任期満了前に支出した令和5年度の決算が示され、寺田・元町長の最後の平成27年度には8・35%あった町のお金のゆとりが、残り1・4%まで少なくなりました。公表されている令和4年度決算に当てはめると、県下39市町村の中で御所市に次ぐ2番目まで悪化しました。借金の割合も寺田・元町長最後の平成27年度は収入に対して6・0%でしたが、森・前町長任期満了前の令和5年度には12・0%と2倍に増加し、町民1人の借金が66万7千円、1世帯当たり154万8千円になりました。この借金はだれが返すことになるのでしょうか？

竹邑 たけむら 利文 としふみ 議員

①自主財源の確保について、積極的に取り組んできた企業誘致による雇用の受皿の確保、転入者が転出者を上回る社会増の状態を維持し、税収の確保に繋がる効率的な債権回収に精力的に取り組んだ結果、滞納額の大大幅減、町税徴収率増に繋がった。「未来を拓く行革」幸せを感じられる田原本の実現に向けて、「下水道・雨水貯留施設・橋梁等ハード整備の見直しをする。②旧第一体育館は秦庄及び旧町の浸水被害解消の為雨水貯留施設を整備する方針。③南小の門扉の開閉が困難の為、開閉が容易な構造にするように早急な対処を求めた。以上一般質問した答弁でした。

岡本 おかもと 充弘 みつひろ 議員

国保条例の一部改正については、虚偽の届け出をした場合や保険税の滞納などで被保険者証を返還しなくてはならないという規定を削除し、罰則も虚偽の届出をした場合に限定されることとなります。委員会内の質問で短期保険証の発行の中止とその代替案として特別療養費の支給に変更との答弁があり、その場合、医療費を全額支払った後に支給となります。町では国や県の指針が示されてから対応していくとの答弁。被

保険者証廃止まで残り2カ月余り。スピードを持っていかなる対応にも柔軟に対処していくよう注視してまいります。

杉岡 すぎおか 雅司 まさし 議員

一般質問で「ごみ収集について」「小学校給食センターについて」「今後の農業施策について」質問。その中で高齢、障害等の理由によりごみを集積場まで搬出することが困難な方のための「ふれあい収集」を拡充する答弁を得ました。また給食センターから提供する米飯は田原本町産米を使用、米飯を週4回に増やし、アレルギーを有する児童については、除去食や代替食の提供に加え米粉100%のパンを検討していく答弁を得ました。また農業施策については、新たな施策が必要ではないかとの質問に対し、農業人材バンク事業を検討するとの答弁を得ました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、12月上旬に開催（予定）します。

☎ 議会事務局 ☎ 34-2119

